

会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回小金井市公共下水道事業審議会	
事務局	環境部下水道課業務設備係	
開催日時	令和6年11月5日(火) 10:00~11:30	
開催場所	小金井市本庁舎第一会議室	
出席者	委員 楠元 克成、利谷翔平、加来昇次郎、安田和弘、 深澤 良彦、高木 和子、橋爪文彦	
	その他	
	事務局 下水道課長 関 次郎、業務設備係長 井出 信綱、 工務維持係長 小林 君男、業務設備係主任 牛込 孝子、 業務設備係主事 田山 未来	
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	0人	
傍聴不可等の理由等		
会議次第	別紙のとおり	
会議結果	別紙「審議経過」のとおり	
提出資料	別紙のとおり	
その他	なし	

1. 委員自己紹介

委員7名の自己紹介後、事務局の自己紹介を行う。

2. 会長の選出

小金井市公共下水道事業審議会の会長を指名推薦により選出する。

会長：楠元 克成委員

3. 副会長の選出

小金井市公共下水道事業審議会の副会長を指名推薦により選出する。

副会長：利谷 翔平委員

4. 小金井市の下水道事業について

事務局から資料2をもとに説明を行った。

特に質疑なし。

5. 令和5年度下水道事業経営戦略の進捗管理等について

事務局から資料3をもとに説明を行った。質疑応答における内容は以下の通り。

(深澤委員)

老朽化率が他の類似団体平均と比べると高いと思う。今後の施設の更新に際し、現在はインフラコストが上がっており、想定外の自然災害なども予期される中で、工賃や材料費の高騰、作業員の不足も危機的状況にあるため、想定以上の見込をもって対応していただきたい。

(楠元委員)

管きょ改善率は上げていかなければならないと思うが、現在はストックマネジメント計画の計画通りに進行していると考えてよいか。

(事務局)

ストックマネジメント計画自体は管きょ内を調査して悪いところを直していくものであるが、計画通りに点検・調査を行っている。改築したほうが有利な箇所と部分的に補修したほうが有利な箇所があり、管きょの老朽化率は全体をやり直す改築をしないと上がらなく、管きょの耐用年数も50年寿命が延びない。

実際の調査で大きい破損は、経年劣化で壊れているというより、人為的な破壊が多く、現在は部分的に補修して延命するケースが多い。

(楠元委員)

管きょ老朽化率が高いといっても、ケアをしていないというわけではなく、それぞれの状況を見て全面改築するのか、補修で対応するのか判断していると理解した。

(楠元委員)

収益的支出の維持管理費は大きな割合を占めると思うが、資料3の「(1) 令和5年度の収支状況について」の中で項目が見えないが、「その他」に含まれているのか。

(事務局)

総務省の経営戦略の様式のひな形がこのような表になっているので「その他」の項に維持管理費の費用も含まれている。

(楠元委員)

特に東京都へ支払う流域下水道維持管理負担金については、都の財政状況が悪くなれば、市の負担も大きくなる。今のところは計画よりも決算値が低いので大きな問題はないと思うが、これが大きくなれば詳しい説明を求めたいと思う。

(利谷委員)

汚水処理原価が類似団体平均よりもかなり低い原価で推移しているが、何故か。

(事務局)

企業債の利息等も汚水処理原価に含まれているので、企業債残高が低く推移していることも汚水処理原価が低く抑えられている要因である。

6. その他

(事務局)

下水道法に係る小金井市公共下水道の野川、荒川右岸、北一の三処理区の事業計画と、小金井都市計画下水道の事業計画の事業計画期間が令和7年3月31日までとなっている。事業期間延伸のために現在変更作業を進めており、その手続きの一環として、来月12月の初めから二週間の予定で市役所第二庁舎4階の下水道課窓口で図書の縦覧を行う。詳細はまた市報等でお知らせする。

閉会

*各議題の会議録・資料については、図書館本館、議会図書館（小金井市役所本庁舎4階）、情報公開コーナー（小金井市役所第二庁舎6階）にて閲覧できます。